

## 連日協議 野党案採用

## 与野党微妙な距離

与野党とも震災対策で歩み寄りを  
見せている。舞台は「各党・政府震  
災対策合同会議」。藤井裕久首相補  
佐官、民主党の山口壮政調筆頭副会  
長、自民党の谷公一副幹事長ら実務  
者による協議がほぼ連日開かれ、▽  
福島第1原発での放水にアーム約60  
メートルの生コンクリート圧送機使用▽海  
外への原発事故情報の丁寧な提供▽  
がれきと化した家屋や自動車を地方  
自治体が所有者の財産権にかかわら  
ず撤去できる指針——などが実現し  
た。政府が野党側の提案を採用する

例も増えている。

しかし、野党側には不満もくすぶ  
る。同原発から20〜30キロ圏内の屋内  
退避指示が出されている地域住民へ  
の対策に関し、公明党の斉藤鉄夫幹  
事長代行は「各党とも救援の必要性  
を早くから指摘しているのに、政府  
は対応していない」と批判する。25  
日の会合では「がれき撤去指針に政  
府、民主党がとりまとめた」との趣  
旨の文言が入っていたことに谷氏が  
猛抗議し、民主党の岡田克也幹事長  
が平謝りする一幕もあった。

それでも自民党の谷垣禎一総裁へ  
の菅首相の入閣要請が不発に終わ  
り、当面は同会議が与野党協力の試  
金石となる。

谷垣氏も26日はテレビ東京の番  
組で「期間を区切るとか、まった  
くないわけではない」と述べ、将来  
の大連立の可能性には含みを残し  
た。ただ、与野党は依然子ども手当  
を半年延長する「つなぎ法案」を  
巡って対立を続ける。震災対応で一  
致協力できる、との見通しは立たな  
い。